

142
42

大正十四年度

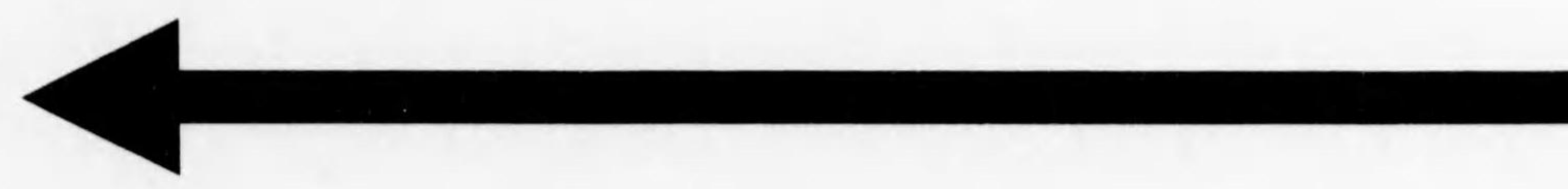
業務功程報告書

(第十回)

廣島縣種畜場



始



大正十四年度業務功程報告書目次

第一章 總說

(1)

一 沿革	(一)
二 地位	(二)
三 地勢	(二)
四 用地	(二)
五 氣象	(三)
六 營造物	(三)
七 庶務會計	(四)
(一) 大正十四年度歲出經常部	(四)
(二) 大正十四年度歲入經常部	(五)
(三) 經費(歲出經常部)累年比較	(六)
(四) 文書件數	(六)
八 職員	(七)
(一) 現在職員	(七)
(二) 舊職員	(七)
(三) 現在備員	(八)
(四) 職員出張	(八)
(五) 參觀人員	(九)

第二章 種畜

一 畜產練習生	(一〇)
二 種畜ノ一般狀況	(一〇)
三 種畜出納表	(一一)
四 種畜ノ育成	(一一)
(一) 候補種畜牛	(一一)
(二) 候補種畜牛ノ發育	(一二)
(三) 候補種畜牛ノ發育比較表	(一三)
(四) 個體別發育步合表	(一四)
(五) 個體別發育步合表	(一五)
(六) 每月平均發育步合表	(一六)
(七) 每月平均發育步合表	(一七)
(八) 年齡別發育表	(一八)
(九) 本年度育成牛發育狀況	(一九)
五 種畜ノ下付	(二〇)
(一) 和種々種畜ノ下付	(二〇)
(二) 下付種畜牛馬累年比較	(二一)
(三) 短角雜種牝牛及其產仔	(二二)
(四) 年度末現在牛	(二三)



十	年度内異動牛	(二五)
九	發育	(二六)
八	發育表	(二六)
七	發育歩合表	(二七)
六	短角雜種蕃殖試驗成績	(二七)
五	蕃殖成績一覽表	(二七)
四	產犢發育表	(二九)
三	產犢發育表	(二九)
二	牝犢ノ部	(二九)
一	牝犢ノ部	(二九)
	場内産牝犢ト購入候補種牝牛トノ發育比較	(三〇)
	和種々牝牛	(三〇)
	種付成績	(三一)
	飼養法	(三一)
	候補種牝牛飼料表一月下付ノ分	(三二)
	候補種牝牛飼料表三月下付ノ分	(三三)
	蕃殖牝牛飼料表	(三四)
	種牝牛飼料表	(三五)
	管理衛生	(三五)
	牧夫日課	(三七)
	購入飼料表	(三七)

第三章 農事

一	農事一般ノ狀況	(三六)
二	收穫物三ヶ年間比較表	(三六)
三	大正十四年度栽培狀況	(三七)
四	製造及生産物	(三七)
五	種苗配布	(三九)
六	種苗配布	(三九)
七	飼料作物試驗	(四〇)
八	飼料ノ貯藏	(四〇)
九	埋草窖及材料詰込	(四一)
十	成績	(四二)

大正十四年度廣島縣種畜場業務功程報書

第一章 總說

一、沿革

産牛ハ本縣重要ノ物産ニシテ就中役肉用種タル和牛ハ古來神石牛ノ名ヲ以テ毎年多數縣下及島根、山口、愛媛、香川縣地方ニ需要セラレ噴々タル名聲ヲ博セリ其性質ノ温順ナル力強クシテ耕技ノ巧妙ナル粗食ニ耐ヘ持久力ニ富ミ且ツ肉味ノ佳良ナル等ハ本牛ノ特ニ長所トスル處ナリ本縣ニ於テハ之カ生産ノ増加ト資質ノ改良ヲ圖ランカ爲メ明治廿八年以來畜産組合ニ補助ヲ與ヘ良種牝牛ノ供給ニ努メシメ更ニ明治三十六年以降標準体型ヲ定メ毎年三歳和種牝牛數十頭ヲ購入シテ之ヲ畜産組合又ハ郡ニ下付シ優良種牝牛ヲ補給シタルカ爲メ其成績大ニ見ルヘキモノアリト雖モ良牛ノ多數ハ當才又ハ二才ニシテ多ク他地方ニ販出散逸シ或ハ地方ニ殘留スルモノアルモ合理的ノ飼養管理法ヲ欠クヲ以テ三才ノ良種牝牛ヲ得難キニ至レルト縣會ハ屢次種畜場設置ノ必要ヲ建議セルヲ以テ大正五年四月地ヲ神石郡油木町高水池ニ相シ荆棘ノ山野ヲ開墾シ種畜場ヲ設置シ神石比婆甲奴ノ三郡内ニ於ケル優良産牛地ヨリ二歳種牝牛ヲ購買收容シ三歳マテ育成シタル上之ヲ各畜産組合ニ下付シ傍ラ飼料作物ノ栽培及飼養管理ニ間スル試驗ヲ施行スルコト、シ大正七年七月設備完成安河内知事臨場開場式ヲ舉行セラレタリ而シテ大正九年三月更ニ事業ヲ擴張シ岩手縣ヨリ短角雜種牝牛三頭ヲ購買收容シ之ニ和種牝牛ヲ交配シ改良蕃殖試驗ヲ施行シ又和種牝牛ノ育成及蕃殖試驗ノ外創業以來乳用牛ハ下總御料牧場及岩手縣小岩井農場其他有名ノ牧場ヨリ馬ハ東北諸縣及北海道ヨリ小格輓用ノ種牝馬ヲ購買移入シテ畜産組合ニ交付シ以テ種牝牛馬ノ充足ヲ圖レリ而シテ大正十二年一月農商務省ノ經營ニナル畜産試驗場中國支

場ノ廢止セララル、ヤ農商務省へ同場備品ノ拂下種牛ノ貸下種豚ノ拂下大藏省へ地上權及工作物ノ交付
 建物ノ拂下ヲ請願シ其許可ヲ受ケ同年三月廿七日及六月廿三日縣參事會ニ於テ經費豫算ヲ可決シ九月
 廿二日比婆郡山内東村ニ分場設置ノ許可ヲ受ケ七塚原分場ト命名シ同場ニ於テ乳牛蕃殖並ニ育成及豚
 ノ蕃殖ヲ經營スルニ至レリ

二、位 置

本場ハ神石郡油木町大字高水池ニ在リ縣廳ヲ去ル東北三十七里山陽線福山驛ヨリ北十一里(兩備輕便
 ニ據レハ万能倉驛又ハ新市驛ヨリ北九里弱)比婆郡ニ通スル縣道ヨリ場ノ西端ニ於テ分岐セル岡山縣
 高山ニ通スル縣道ヨリ入ルコト三町ニシテ事務所ニ達シ得ヘク自動車腕車自由ニ交通ス油木市街(郡
 役所、警察署、郵便局所在)ヲ距ルコト僅ニ八町ニ過キス強テ急行セハ廣島市へ一日行程ニテ達シ得ヘシ

三、地 勢

郡内總テ高峻ニシテ峴峰連亘シ平地稀レナリ本場ハ元山林ノ開拓地ニシテ丘陵ヲ爲シ凸凹起伏シ波狀
 ヲ呈スト雖モ東端北部ヲ除ク外ハ概シテ緩勾配ヲ爲シ南西ヨリ北東ニ延ヒ一部北面スルモ大部分ハ南
 西ニ向ツテ緩傾斜ヲ以テ展開シ漸次下降スルニ依リ比較的溫暖ナリ土質ハ粘性腐殖土ニシテ放牧耕耘
 ニ適ス場内所々ニ清水湧出シ用水ハ場内井水豊富ニシテ水質佳良飲料ニ適ス西方ニ聳ユル權現山(町
 内第一ノ高山ニシテ二千二百尺餘)ノ秀嶺ハ指顧ノ間ニ展望シ得テ眺望佳ナリ

四、用 地

用地總面積三十町歩ニシテ其内譯左ノ如シ

建物敷地 四段六畝二十六歩

車 道 一段七畝十八歩

運動場 一町三段歩
 耕地 六町七段九畝十五歩

放牧地 十町歩
 草刈地 十町七段三畝廿一歩

五、氣 象

冬季ハ風位大概北西ニシテ寒氣強ク氣温攝氏十三度ヨリ零下七度ノ間ヲ昇降ス雪ハ大抵十一月下旬ヨ
 リ降初メ稀レニ積雪尺餘ニ及フコトアリ初霜ハ十月中旬ヨリ晚霜ハ四月下旬乃至五月上旬トス夏季ハ
 氣温攝氏十二度ヨリ三十五度ノ間ヲ昇降シ南風多ク概ネ清涼ナリ

六、營 造 物

營造物名稱	個 數	坪 數	建 築 年 度
飼料調理所	一	三	大正五年度
牛舎	二	〇〇	大正五年度
堆肥舎	二	〇〇	大正五年度
井戸	四	〇〇	大正五年度
風便所	二	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務所	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
夫舎	一	〇〇	大正五年度
事務所	一	〇〇	大正五年度
官舎	一	〇〇	大正五年度
牧務			

月別	部位	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月
七	体長	一、〇、〇	六、七	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
六	肩高	二、四	三、五	二、四	二、四	二、四	二、四	二、四	二、四	二、四	二、四	二、四	二、四
五	薦高	一、七	二、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五	四、五
四	胸圍	六、一	二、二	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
三	胸深	四、五	三、三	二、三	二、三	二、三	二、三	二、三	二、三	二、三	二、三	二、三	二、三
	胸幅	三、四	一、四	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七
	腰角	一、四	一、九	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六
	腕幅	〇、一	一、三	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八	一、八
	尻長	一、四	一、六	一、九	一、九	一、九	一、九	一、九	一、九	一、九	一、九	一、九	一、九
	管圍	一、五	二、〇	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六
	体重	五、九	〇、九	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三
	摘	三月廿七日退場	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	要	四月十五日收容廿八頭廿四日二頭計三十頭ノ平均	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

(4) 毎月平均發育歩合表 (前月末測定)

年 齡	平均頭數	体長	肩高	薦高	胸圍	胸深	胸幅	腰角幅	腕幅	尻長	管圍	体重
八月	八、九	三、一	七、六	一、〇	一、四	一、七	〇、七	〇、四	二、八	〇	〇	同
九月	三、二	三、四	七、二	三、二	三、〇	一、三	二、二	一、八	二、七	〇	〇	同
十月	二、五	三、三	九、四	一、六	三、六	二、三	一、二	〇、五	二、四	〇	〇	同
十一月	七、三	三、三	九、一	二、九	一、六	一、八	一、五	〇、五	二、四	〇	〇	同
十二月	八、四	三、〇	二、八	四、二	三、一	二、五	四、〇	〇、七	二、四	〇	〇	同
一月	八、六	二、七	二、二	〇、九	一、三	一、九	九、〇	〇、七	二、三	〇	〇	同
二月	〇、六	六、〇	八、〇	五、〇	四、〇	二、〇	二、〇	一、〇	二、六	〇	〇	同
三月	三、〇	〇、四	一、〇	一、〇	〇、六	二、〇	二、〇	一、〇	二、三	〇	〇	同

(5) 年 齡 別 發 育 表

(一月廿日退場牛十四頭)十六頭(三十一日間)ノ發育平均歩合

十六頭ノ發育平均

(ハ) 本年度育成牛發育狀況

本年度育成牛ノ發育ハ育成ノ中途疾病ノ爲メ發育ノ遅レタルモノ二頭アリシモ大体ノ發育ハ概シテ良好ニシテ退場時ニ於ケル配布牛ノ体高胸圍體重ヲ累年比較スレハ左表ノ如シ

候補種牝牛發育累年比較表 (配付時)

年度	區分		平均頭數	肩高	薦高	胸圍	體重	平均頭數	肩高	薦高	胸圍	體重
	上	下										
大正五年度	三	三	三	四〇、四	四一、一	五六、二	九六、三	二九	四〇、七	四一、二	五六、六	九六、〇
大正六年度	三	三	三	三九、八	四〇、六	五四、九	九六、三	二五	四〇、〇	四〇、七	五四、九	九六、〇
大正七年度	三	三	三	三九、八	四〇、六	五四、九	九六、三	二五	四〇、〇	四〇、七	五四、九	九六、〇
大正八年度	三	三	三	三九、八	四〇、六	五四、九	九六、三	二五	四〇、〇	四〇、七	五四、九	九六、〇

四、種畜ノ下付

(一) 和種種牝牛ノ下付

本年度當場ニ於テ購買育成シタル候補種牝牛三十頭及當場産牛一頭合計三十一頭ヲ左記ノ通り畜産組合ニ配付シタリ

下付年月日	下付先	下付牛名	頭數
大正十五年一月廿日	安藝郡産牛畜産組合	帝勤	一
同日	安佐郡同	第三油格	一
同日	御調郡同	油尾領村	二
同日	沼隈郡同	第二油竹、豊木	二
同日	深安同	第二仙勉、來豊	二
同日	蘆品郡同	第二奴光	一
同日	神石郡同	草安、東澤、永伊	三

種類	名號	性	生年月日	毛色	特徵	產地	血統	備考
和改種良	神第三鳥	牝	大正十四年四月八日	黑	面旋二耻小白陰	當場	和第三神啓	大正十四年八月廿二日 甲奴郡畜産組合へ下付
短角種	大鳥	牝	大正十四年五月廿八日	同	面旋陰毛半白	岩手縣	短角雜種	大正十四年十二月廿五日 永渡村佐々井勇へ賣却
雜種良	大井	牝	大正十四年七月九日	同	面旋中兩眉旋欠	當場	短角雜種	同日神石郡福永村佐藤彦一へ拂下
和改種良	神第三鳥	牝	大正十四年九月廿七日	同	面旋中	當場	短角雜種	同日神石郡油木町片山万三郎へ拂下
同	大鳥	牝	大正十四年十月四日	同	面旋稍左臍白乳	當場	短角雜種	同日神石郡油木町佐竹陸平へ拂下
同	神第二鳥	牝	大正十四年八月廿三日	黑褐	面旋稍上	當場	和第三神啓	同日甲奴郡甲奴村山田倫次へ拂下
同	神第二鳥	牝	大正十四年八月十四日	黑	面旋中臍腹下	當場	和第三神啓	同日神石郡養村小林勉太郎へ賣却
同	豐大	牝	大正十四年八月十一日	白斑	面旋下右眉旋欠胸腹下	當場	和第三神啓	

年度内異動牛

種類	名號	性	生年月日	毛色	特徵	產地	血統	前所有者住所氏名
短角種	岩花	牝	大正八年六月十五日	黑	面旋稍下右眉旋欠背旋前位	岩手縣下閉伊郡	短角雜種	岩手縣下閉伊郡岩泉村三上嘉四郎
雜種良	岩花	牝	大正十年七月十三日	同	面旋中臍腹下	當場	短角雜種	
和改種良	岩花	牝	大正十四年四月六日	同	面旋中右眉旋欠	當場	和第三神啓	
同	豐岩	牝	大正十四年八月九日	同	面旋稍上項旋	當場	和第三神啓	
同	神第四鳥	牝	大正十四年八月十四日	同	面旋下	當場	和第三神啓	
同	神第四鳥	牝	大正十五年三月廿七日	同	面旋中背旋稍	當場	和第三神啓	

五、短角雜種牝牛(蕃殖試驗用)及其產仔

大正九年四月岩手縣ヨリ短角雜種牝牛三頭ヲ購入シ同年五月三日當場ニ收容シ之ニ神石郡産和種々牝牛ヲ配シ數代ニ亘リ其ノ蕃殖遺傳並ニ發育ニ關スル事項ヲ試驗シツ、アリ

(1) 年度未現在牛

合計	七塚原分場	組合	安藝郡産牛畜産	比婆郡同上	雙三郡産牛馬畜産組合	甲奴郡産牛馬畜産組合
一七	一	一	一	一	一	一
八						
六						
一八四						
九						
六						
二						
一〇三						
三						
三						
三七						

(八) 發育表 (昨ハ前年度末ノ畧) 現ハ現在

Table with columns for name, age, and various body measurements (height, chest, etc.) for three groups of cattle: 第三大井, 第二岩花, and 第二神大. Each group has multiple entries with their respective measurements.

備考 第三大井、第二神大、神大、第二大鳥、八月廿五日退場第三神鳥、八月廿二日退場迄ノ發育ヲ示ス

(2) 發育歩合表 (全ハ育成期間ノ畧) 月ハ一ヶ月

Table showing development progress (歩合) for the same three groups of cattle as in the previous table, with columns for age, period, and various body measurements.

(二) 短角雜種蕃殖試驗成績

大正九年五月岩手縣ヨリ短角雜種牝牛三頭ヲ購入シ此レニ和種々牝牛ヲ交配シ蕃殖並發育ニ關スル諸種ノ事項ヲ繼續試驗シタルニ其成績良好ニシテ遺傳力確實在來和牛ニ比シ牝牛ハ概シテ後体及乳房ノ發育良好ナリ又牝牛ニアリテハ生後十八ヶ月ニシテ體重百貫以上ニ達シ在來種ヨリモ著シク早熟性ニ富ム就中岩花號ノ産仔ハ特大ニシテ生時ニ於テ既ニ十貫—十二貫ノ體重ヲ有セシモノ三頭ニ達セリ收容以來生産シタル數及其處置左ノ通りニテ本年度中ニ於テ經費ノ關係上牝牛六頭ヲ賣却又ハ拂下シタルハ遺憾トスル所ナリ

(1) 蕃殖成績一覽表

Table with columns for purchase name, name, birth date, and notes. It lists specific cattle from the '大井號牝' and '第三大井牝' groups.

大正九年購入 大正十三年四月山縣郡組合へ拂下 大正十四年十二月廿五日神石郡福永村佐藤彦一へ拂下

大鳥號牝	第四大井牝	神井牝	神鳥牝	第二神鳥牝	第三神鳥牝	第二大鳥牝	第四神鳥牝	岩花牝	第二岩花牝
大正十一年七月九日	大正十一年七月九日	大正十二年七月十二日	大正十年八月十日	大正十一年十二月四日	大正十二年十一月四日	大正十三年十月四日	大正十四年八月十四日	大正十年七月十三日	大正十年七月十三日
神大牝	第二神大牝	豐大牝	神大牝	神大牝	神大牝	神大牝	神大牝	神大牝	神大牝
大正十二年九月廿七日	大正十三年八月廿三日	大正十四年八月一日	大正十三年九月廿七日	大正十三年九月廿七日	大正十三年九月廿七日	大正十三年九月廿七日	大正十三年九月廿七日	大正十三年九月廿七日	大正十三年九月廿七日
<p>第三大井ノ仔大正十四年十二月廿五日神石郡油木町片山万三郎へ拂下</p> <p>第三大井號ノ仔大正十四年十二月廿五日甲奴郡甲奴村山田倫次へ拂下</p> <p>第三大井號ノ仔大正十四年十二月廿五日賣却</p> <p>大正十三年四月山縣郡畜産組合へ拂下</p> <p>大正十三年十二月七日七塚原分場へ保管轉管</p> <p>大正九年購入</p> <p>大正十四年十二月廿五日賣却</p> <p>大正十二年三月廿六日神石郡畜産組合へ下付</p> <p>大正十三年十一月廿五日比婆郡畜産牛馬畜産組合へ下付</p> <p>大正十四年八月廿日甲奴郡畜産牛畜産組合へ下付</p> <p>大正十四年十二月廿五日神石郡油木町佐藤陸平へ拂下</p> <p>繁養中</p> <p>大正九年購入</p> <p>繁養中</p> <p>繁養中</p>									

神鳥	神井	名	血	統	肩	高	薦	高	胸	圍	管	圍	体	重
母父	母父	神鳥	神井	神鳥	神井	神鳥	神井	神鳥	神井	神鳥	神井	神鳥	神井	神鳥
短角雜種大鳥	和種第三神啓	短角雜種大鳥	和種第三神啓	短角雜種大鳥	和種第三神啓	短角雜種大鳥	和種第三神啓	短角雜種大鳥	和種第三神啓	短角雜種大鳥	和種第三神啓	短角雜種大鳥	和種第三神啓	短角雜種大鳥
三〇	三七	三五	三九	三八	三九	三〇	三〇	二六	四八	三五	三六	五五	五七	
<p>(2) 産續發育表</p> <p>大正九年度以降場内産續(一ケ年以内ニ賣却其他ニヨリ退場シタルモノヲ除ク)ノ出産時ヨリ十二ヶ月間ニ於ケル肩高薦高胸圍管圍体重ノ發育左ノ如シシテ參考ニ供ス</p> <p>(1) 牝 犢</p> <p>部</p> <p>(出ハ出産時 現ハ十二ヶ月後ノ畧)</p>														
神花牝	第三岩花牝	第二神花牝	第四岩花牝	神花牝	第三岩花牝	第二神花牝	第四岩花牝	神花牝	第三岩花牝	第二神花牝	第四岩花牝	神花牝	第三岩花牝	第二神花牝
大正十一年十二月十二日	大正十三年一月八日	大正十四年四月六日	大正十五年三月廿七日	大正十一年十二月十二日	大正十三年一月八日	大正十四年四月六日	大正十五年三月廿七日	大正十一年十二月十二日	大正十三年一月八日	大正十四年四月六日	大正十五年三月廿七日	大正十一年十二月十二日	大正十三年一月八日	大正十四年四月六日
神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝	神岩牝
大正十三年二月十日	大正十四年八月九日	大正十三年二月十日	大正十四年八月九日	大正十三年二月十日	大正十四年八月九日	大正十三年二月十日	大正十四年八月九日	大正十三年二月十日	大正十四年八月九日	大正十三年二月十日	大正十四年八月九日	大正十三年二月十日	大正十四年八月九日	大正十三年二月十日
<p>大正十三年四月三十日斃死第二岩花ノ仔</p> <p>第二岩花ノ仔</p> <p>繁養中</p> <p>大正十三年十一月廿五日神石郡畜産牛畜産組合へ下付</p> <p>大正十三年十一月世羅郡畜産牛馬畜産組合へ拂下</p> <p>繁養中</p> <p>繁養中</p>														

年 齡	肩 高		薦 高		胸 圍		管 圍		體 重	摘 要
	產 候	現 候	產 候	現 候	產 候	現 候	產 候	現 候		
十二ヶ月	三六七	三六三	三九五	三七六	四九四	四七三	五五分	五五分	七五	産ハ六頭平均
十三ヶ月	三六六	三六七	三九一	三七八	四九五	四七八	五五分	五五分	七三	産ハ五頭平均
十四ヶ月	三九一	三七八	四〇一	三八三	五〇六	四八三	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
十五ヶ月	三九五	三七三	四〇四	三八三	五二二	四八九	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
十六ヶ月	四〇一	三七五	四〇七	三八五	五三三	四九六	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
十七ヶ月	四〇七	三七六	四一五	三八八	五三三	五〇五	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
十八ヶ月	四二二	三八一	四三二	三九三	五五三	五二五	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
十九ヶ月	四二四	三八四	四四四	三九五	五五三	五二四	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
二十ヶ月	四二八	三八七	四三八	三九八	五五六	五二八	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
廿一ヶ月	四三八	三九一	四三五	三九八	五八二	五三九	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
廿二ヶ月	四三二	三九七	四四〇	四〇一	六〇五	五五〇	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
廿三ヶ月	四三六	三九六	四四七	四〇一	六〇〇	五五二	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均
廿四ヶ月	四四五	四〇五	四四八	四一五	六二四	五五五	五五分	五五分	七二	産ハ五頭平均

(八) 場内産杜犢ト購入候補種杜牛トノ比較 (産ハ場内産杜犢候ハ購入候補種杜牛)

平均	第二神大
母父改良和種第三大井	母父和種第三神啓
二二二	二二〇
三五五	三五四
三三三	三三二
三七〇	三七三
二二二	二二〇
四六一	四五五
三三三	三三三
四七、三〇五、三三三	四七、八〇五、六〇〇

名 號	血 統		肩 高		薦 高		胸 圍		管 圍		體 重	
	出 現	現 候	出 現	現 候	出 現	現 候	出 現	現 候	出 現	現 候	出 現	現 候
第二神鳥	母父和種第三神啓	短角雜種大鳥	二二二	二二二	二二五	二二五	二二五	二二五	三三	三三	四九、二〇六、九〇〇	四九、二〇六、九〇〇
第三神鳥	母父和種第三神啓	短角雜種大鳥	二二八	二二八	二二九	二二九	二二九	二二九	三三	三三	五三、八、二〇六、六〇〇	五三、八、二〇六、六〇〇
神 花	母父和種第三神啓	短角雜種岩花	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	三三	三三	五二、〇、五〇八、一〇〇	五二、〇、五〇八、一〇〇
第二神花	母父和種第三神啓	短角雜種岩花	二二〇	二二〇	二二八	二二八	二二八	二二八	三三	三三	六三、二、三〇〇、一〇〇	六三、二、三〇〇、一〇〇
平均			二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	三三	三三	五二、九、四五〇、七五、〇〇〇	五二、九、四五〇、七五、〇〇〇
第三大井	母父和種第三神啓	短角雜種大井	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	三三	三三	四九、七、三〇六、二、四〇〇	四九、七、三〇六、二、四〇〇
第四大井	母父和種第三神啓	短角雜種大井	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	三三	三三	四六、六、五〇五、五〇〇	四六、六、五〇五、五〇〇
第二大鳥	母父和種第三神啓	短角雜種大鳥	一九八	一九八	二〇七	二〇七	二〇七	二〇七	三三	三三	四六、七、五〇五、〇〇〇	四六、七、五〇五、〇〇〇
第二岩花	母父和種第三神啓	短角雜種岩花	二二二	二二二	二二五	二二五	二二五	二二五	三三	三三	五二、八、六〇〇、六七、六〇〇	五二、八、六〇〇、六七、六〇〇
神 大	母父改良和種第三大井		二〇六	二〇六	二二七	二二七	二二七	二二七	三三	三三	四六、六、七〇〇、五、九〇〇	四六、六、七〇〇、五、九〇〇

(口) 牝 犢 (出ハ出産時現ハ十二ヶ月後ノ畧)

九月	十月	十一月	十二月
700	1,100	1,100	1,100
600	600	1,100	1,100
五	五	五	五
六	五	五	五
六	五	五	五
(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)

八、管理衛生

牛ノ取扱ハ懇切ヲ旨トシ粗暴ノ行爲ヲ慎ミ以テ性質ノ惡變ヲ豫防シ常ニ衛生注意シ疾病ヲ未發ニ防キ運動ヲ課シテ諸器管特ニ肢蹄ノ發達ヲ促シ雨露ニ曝シテ抵抗力ヲ養ヒ健康ヲ増進シ發育ヲ良好ナラシム

毎朝敷糞ヲ交換シテ舍内ヲ清メ特ニ汚レタル舍壁ハ水ヲ以テ洗滌シ窓戸ヲ開閉シテ空氣ノ流通及溫度ヲ調節ス毎日一回皮膚ノ梳拭ヲ行ヒ必要アレハ水又ハ溫湯ヲ以テ清拭ス

候補種牝牛及蕃殖牝牛ハ毎日交代ニ放牧場ニ放テ自由ニ運動セシメ種牝牛ニアリテハ牽運動又ハ繫運動ヲ課シ天候不良ノ日ト雖モ殆ト休止スルコトナシ

候補種牝牛ニアリテハ育成中小綱又ハ矯角器ヲ以テ角ノ形狀方向ヲ矯正シ美形ヲ保タシメ削蹄ヲ行ヒ蹄形ヲ正クシ川入ヲ行ヒテ蹄ヲ清潔ナラシム又調教ヲ行ヒ肢勢ヲ整ヘ歩様ヲ教ヘ品位ヲ向上セシム而シテ配布ノ二ヶ月前ヨリ放牧ヲ禁シ午前中ハ周到ナル手入ヲ行ヒ午後ハ川入ヲ兼テ牽運動ヲ課ス本年度内ノ患畜ハ左記ノ如シ

- 消化器病 五
- 生殖器病 三
- 泌乳器病 二
- 外傷 六
- 皮膚病 二(旬行疹ヲ除ク)
- 腫瘍 一

同上

青刈ハ糞食三貫夕飼後二貫ヲ給ス

() 内時季ニヨリ其一ヲ給ス

例年當場ニ發生蔓延シタル旬行疹ハ本年モ亦多數發生シタレトモ何レモ經過短カカリシハ幸ナリ六月廿五日畠池號ノ外候補種牝牛廿九頭及蕃殖用牛及種牝牛ニ對シ氣腫疽豫防注射ヲ行フ

九、牧夫日課

午前七時(夏季ハ午)作業ニ從事シ午後六時終了スルヲ普通トスレトモ季節ニ依リ又作業ノ繁閑ニ依リ三十分乃至一時間ノ伸縮アリ大体左記順序ヲ以テ作業ス但朝飼付ハ宿直牧夫之レヲ擔當シ給水及飼槽ノ處置ハ非番牧夫ニテ擔當ス作業終了後ハ宿直牧夫場内ヲ巡視ス

作業順序

- 一、釜焚(冬期間)飼付準備、朝飼付 午前六時—七時
- 二、給水、飼槽洗滌、乾燥 午前七時—八時
- 三、放牧(候補種牝牛)手入敷糞交換、舍内掃除、草刈 同 八時—十一時半
- 四、晝飼付 同 十一時半—正午
- 五、休憩 正午—午後一時(夏季ハ一時間半乃至二時)
- 六、放牧(蕃殖牝牛)手入牽運動、川入敷糞整理糞切 午後一時—五時
- 七、飼付準備、飼付給水、間食投與、 午後五時—六時

十、購入飼料表

品目	數量	單價	價格	備考
挽割大麥	三、三〇〇	五円	一、六五〇	
	二、六〇〇	四円	一、〇六〇	
			三〇〇	

種	甘	馬	燕	同	大	混播	トール	チモ	オー	クロー	葱	向	菊
ミレット	薯	鈴薯	菁	根	牧草	オート	シイ	グ	グ	バー	苜蓿	葵	芋
二、八三	三、四八	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	一、〇〇〇	五、二八	九、七	九、一	三、六四	五、〇〇	三、〇〇	一、〇〇	二、二五
一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	三、四八	一、五〇	一、〇〇	一、六〇	二、一〇〇	六〇	一、〇〇	一、〇〇
三、七	七、〇〇	七、〇〇	五、〇〇	四、九〇	一、九〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇	二、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇	三、〇〇	一、九
一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四	一、〇八四
五、二	七、五	三、七	三、七	二、五	六、五	一、三	一、四	一、〇	五、三	五、〇	一、〇	一、〇	一、二
雜草ノ害ヲ受ケ結果不良	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス	蔓ハ大部分埋草トナシ一部ハ青刈ノママ給與ス

草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二	一〇三、八二
三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇	三、九六〇
二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇
一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇
三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇	二、四、七五〇

種苗配布規程ニヨリ配布ヲ願出テタル數量ハ牧草類六十五貫五百六十六匁、稈莖類三斗七升四合、牧草苗類三百株根菜類五匁ニシテ之レニ對シ牧草類十七貫四百三十一匁莖類三斗四合牧草苗類三百株根

四、種苗配布

三、製造物及生産物

各種三坪ノ地積ヲ限リ大正六年度ヨリ繼續試験セル飼料作物ノ成績左ノ如シ

品名	配布先	豊田郡	山縣郡	比婆郡	安佐郡	沼隈郡	蘆品郡	佐伯郡	神石郡	計
燕	オーチャードグラス						1,000		7,000	8,000
麥	トルオート								1,600	1,600
玉	サートウキ								7,700	7,700
蜀黍	ツケン								7,700	7,700
燕									7,700	7,700
麥									7,700	7,700
玉									7,700	7,700
蜀黍									7,700	7,700
燕									7,700	7,700
菁									7,700	7,700
白									7,700	7,700
萩									7,700	7,700

五、飼料作物試験

各種三坪ノ地積ヲ限リ大正六年度ヨリ繼續試験セル飼料作物ノ成績左ノ如シ

種	類	播種期	收穫期	平均草丈	反當換算 生草量	生草ニ對ス ル乾草歩合	備	考
パールミレット		一四、五、二二	一四、八、三	七五	六七〇			
燕麥北大十三號		一四、四、六	一四、七、八		九五〇		春蒔ナレトモ生育佳良ナリ	
オーチャードグラス		六、五、三	六、七	三六一	一八〇	三	三回刈取生草量ハ其合計收穫期及草丈ハ一番刈チヌ	
同		同日	六、三	五〇〇	一六四	三〇	三回刈取同上	
玉蜀黍		一四、四、五	一四、八、六	八五〇	七九〇			
トルオートグラス		一〇、四、三	六、七	五五五	一七五	三	三回刈取	
オンレス		六、五、三	六、三	三五五	五五	五	二回刈取	
プロームグラス		一三、九、二五	六、三	四六五	一七〇			
ザートウキツケン		一〇、四、三	六、三	四九〇	一六九〇	三〇	三回刈取	
燕麥混播		九、二、三	七、八	六五〇	二四五	三	二回刈取	
荳		二、四、三	七、八		三六五		二回刈取	
葛		二、四、三	七、八		三五〇			
白萩		二、四、三	七、三	四二〇	三五〇	五		

客別	開客年月日	在客		製産量		棄却量		備	考
		日數	數	量歩	合數	量歩	合		
第一號客	一五、三、三	二七	九五	〇、八六	四〇	〇、〇三			
第二號客								年度内ニ開客セス大正十五年へ繰越	
第三號客	一四、二、八	二〇	八〇	〇、七二	三〇	〇、〇二		密底ニ近キ部分ハ芳香チ欠キ一種ノ異臭チ放ツ	
第四號客	一五、一、七	二六	九〇	〇、八五	三六	〇、〇三			
第五號客	一五、二、一	一八	八四	〇、七四	四〇	〇、〇四			
第一號客	一四、四、五	三三	七〇	〇、八九	四〇	〇、〇五			
第五號客	一四、五、七	一七	五〇	〇、八二	二四	〇、〇三			
計			五、〇九	〇、八五					

大正十三年度繰越ノ分材料燕麥雜草色ハ稍暗色香氣佳ナル好食セ
 大正十三年度ヨリ繰越ノ分材料甘藷雜草甚々水分ニ富ミ臭氣著シ
 密底ニ近キ部分ハ芳香チ欠キ一種ノ異臭チ放ツ

大正十五年十二月一日印刷
 昭和二年一月三十日發行
 (非賣品)

廣島縣種畜場

廣島市吉島町五十番地

印刷所 廣島刑務所

421
 421

1424
421

終